

2 講演内容

(1) 問題提起「女性獣医師をめぐる情勢」

農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課 課長補佐 荻窪恭明

獣医事に従事する獣医師に占める女性獣医師の割合については、平成 14 年 12 月末では約 18%であったが、平成 24 年では約 28%に増加している。特に、20～30 歳代では半数近くが女性獣医師になっている。また、職域ごとに異なるものの、産業動物診療では約 5%から約 11%に増加するなど、各職域ともにこの 10 年間で女性の占める割合が増加している。現在、獣医系大学の在学者は約半数が女性であることから、今後とも女性獣医師の増加が見込まれている。

一方、平成 24 年 12 月現在、獣医師法第 22 条の届出のあった女性獣医師のうち、無職の女性獣医師は約 7% (750 人) である。女性獣医師が無職である主な理由としては、結婚や出産、子育てを理由とした離職や長期離職による技術力への不安等により再就職をためらうこと等が考えられる。女性医師 (約 1% (581 人)) や女性歯科医師 (約 2% (417 人)) の無職の割合と比較してもその高さが顕著であり、適切な獣医療提供体制を整備する上でも早急な対策が求められている。

政府では、日本経済の再生に向けた取組の中で、「女性が輝く日本」の実現を掲げ、政策を展開している。農林水産省としても、女性獣医師が生涯を通じてその能力を遺憾なく発揮できる環境を整えることが大切だと考えており、生活スタイルに合う職場への復帰や再就職に向けたスキルアップ、女性獣医師の就業環境の整備に向けた雇用者の理解醸成、獣医女子学生が将来を考える上で参考となる活躍する女性獣医師に関する情報提供等に取り組むことにしている。これらの取組の結果、女性獣医師に限らず、獣医師の就業環境の整備が進展するとともに、獣医師の職域・地域偏在が解消されることを目指している。

平成27年2月13日
平成26年度獣医学術学会年次大会（岡山）
@岡山コンベンションセンター

【問題提起】 女性獣医師をめぐる情勢

農林水産省 消費・安全局
畜水産安全管理課



今日の話の流れ ～女性獣医師をめぐる情勢～

- 1 獣医師をめぐる情勢
- 2 獣医師の年齢分布と地域特性
- 3 獣医師の職域別の年齢構成
- 4 女性獣医師に対する就業支援

獣医師をめぐる情勢

2

獣医師の職域分布

【(人)：農林水産省調べ】

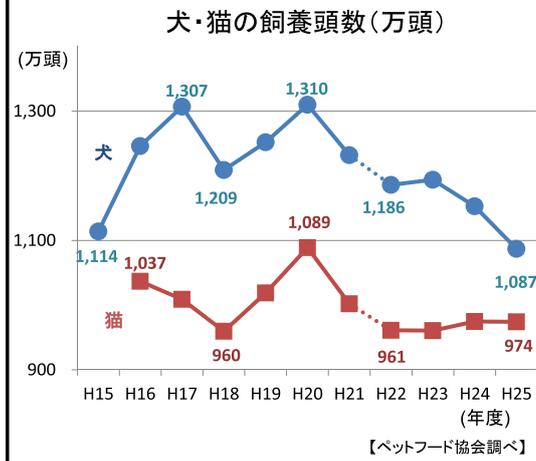
分野	H14	H24	H24/H14
産業動物診療	4,590	4,366	-5%
公務員	9,402	9,237	-2%
うち家畜衛生	3,669	3,444	-6%
小動物診療	9,476	14,640	54%
その他の分野	3,262	5,541	70%
獣医事に従事しない者(無職を含む)	3,993	4,509	13%
合計	30,723	38,293	25%



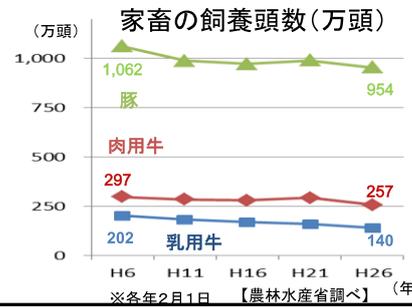
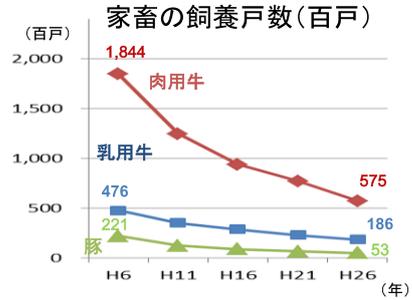
獣医師の職域偏在

3

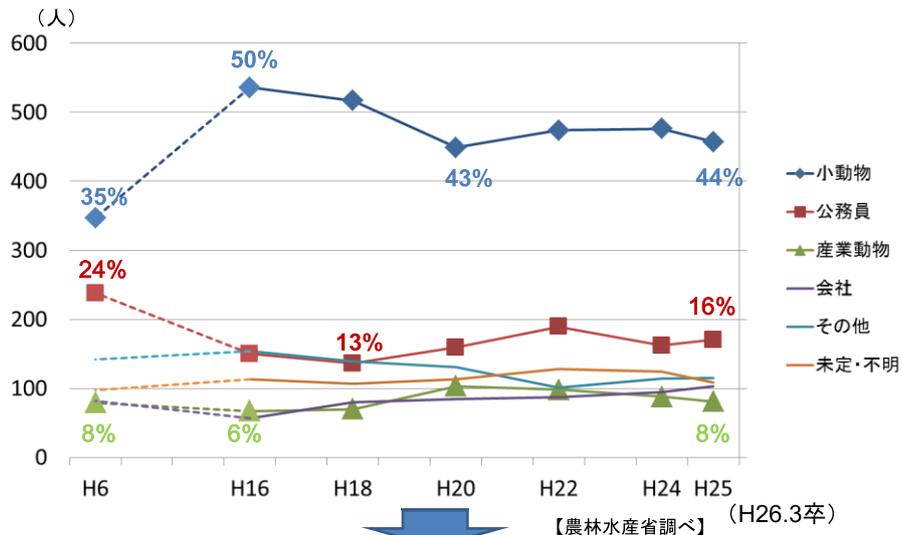
犬・猫、家畜の飼養頭数等の推移



※平成22年度から調査手法が変更されました。
 ※平成22年度までは沖縄県が含まれていません。
 ※猫の飼養頭数は内猫のみです。



獣医学生の就業状況推移



小動物診療分野で減少、公務員分野で増加傾向
 産業動物診療分野では定年退職者の増加により採用数を増加

獣医師の地域分布

【(人)：農林水産省調べ】

地域	H14		H24		全国比 H24-H14
	届出者総数	全国比	届出者総数	全国比	
北海道	2,952	9.6%	3,305	8.6%	-1.0%
東北地方	3,064	10.0%	3,013	7.9%	-2.1%
関東地方	7,909	25.7%	12,649	33.0%	7.3%
中部地方	4,834	15.7%	5,529	14.4%	-1.3%
近畿地方	3,817	12.4%	4,968	13.0%	0.5%
中国地方	2,365	7.7%	2,426	6.3%	-1.4%
四国地方	1,206	3.9%	1,326	3.5%	-0.5%
九州地方	4,576	14.9%	5,077	13.3%	-1.6%
合計	30,723	100%	38,293	100%	

獣医師の地域偏在

6

産業動物獣医師の確保対策

獣医学生等の就業の誘導

- 1 獣医学生に対する臨床実習の実施
畜産地帯の獣医大学、農業共済診療施設等での臨床実習や都道府県の家畜保健衛生所等での行政実習を実施
- 2 獣医学生に対する修学資金の貸与
月額12万円を上限として貸与
- 3 高校生等に対する修学資金の貸与(平成26年度から実施)
獣医大学入学前に大学へ納付する費用(入学金、授業料、実習費等:175万円)を上限として貸与

卒後研修による獣医師の定着化

- 1 新卒獣医師への初期臨床研修の実施
実践的な診断技術や臨床現場における基礎的知識の修得
- 2 中堅獣医師への臨床研修等の実施
農場管理技術や家畜伝染病の衛生管理技術の修得

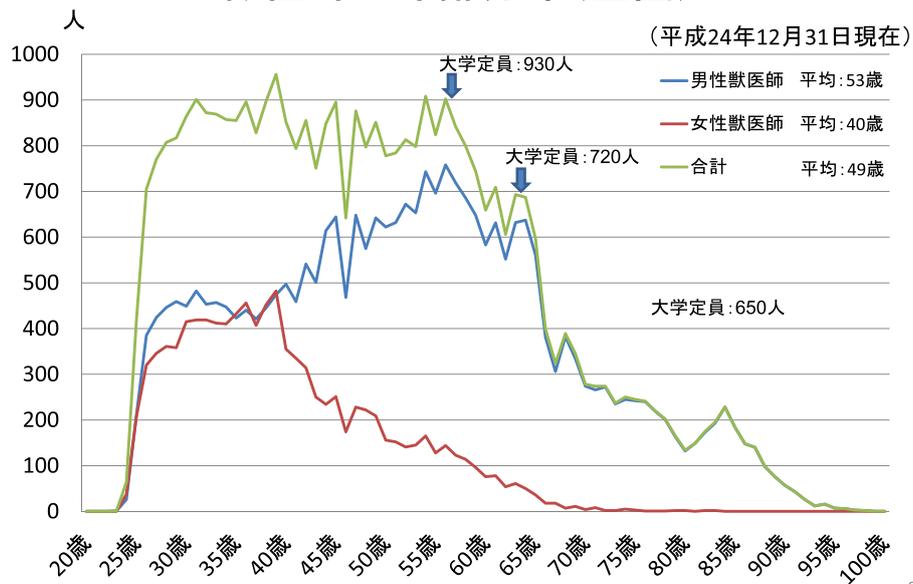
基本方針・都道府県計画
(獣医師の確保目標)

↓
地域の実情に応じた
獣医療の提供と
産業動物
獣医師の確保

獣医師の年齢分布と地域特性

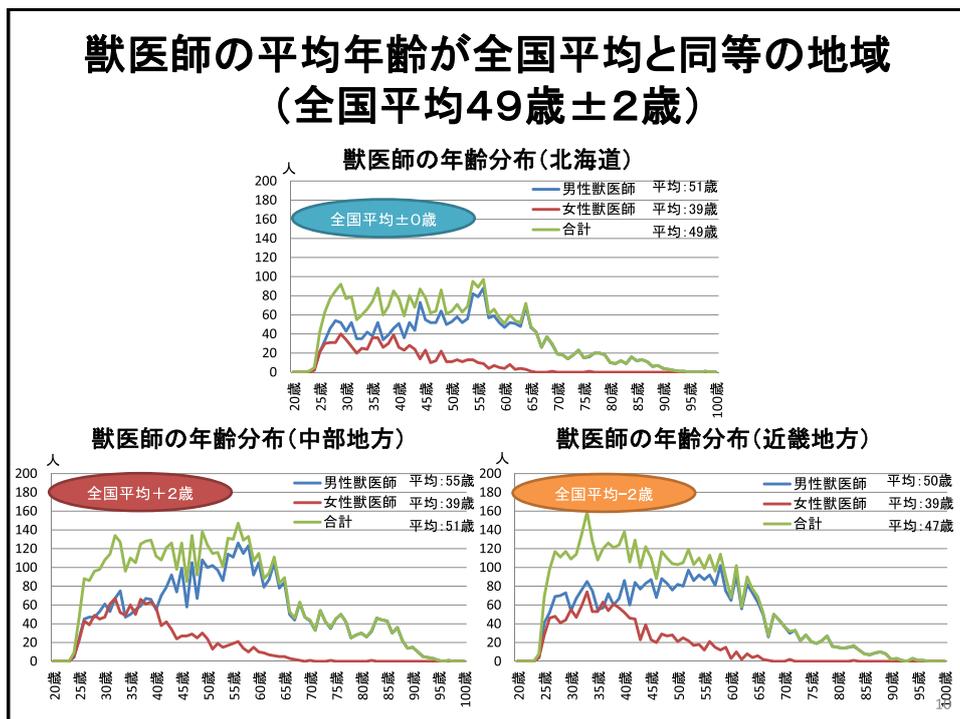
8

獣医師の年齢分布(全国)

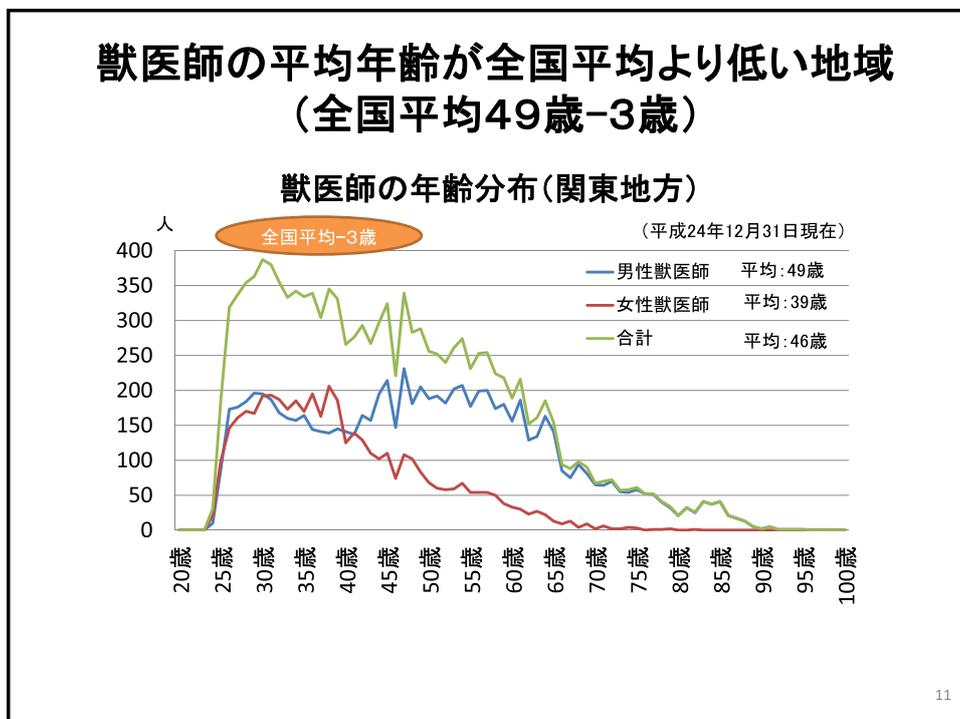


9

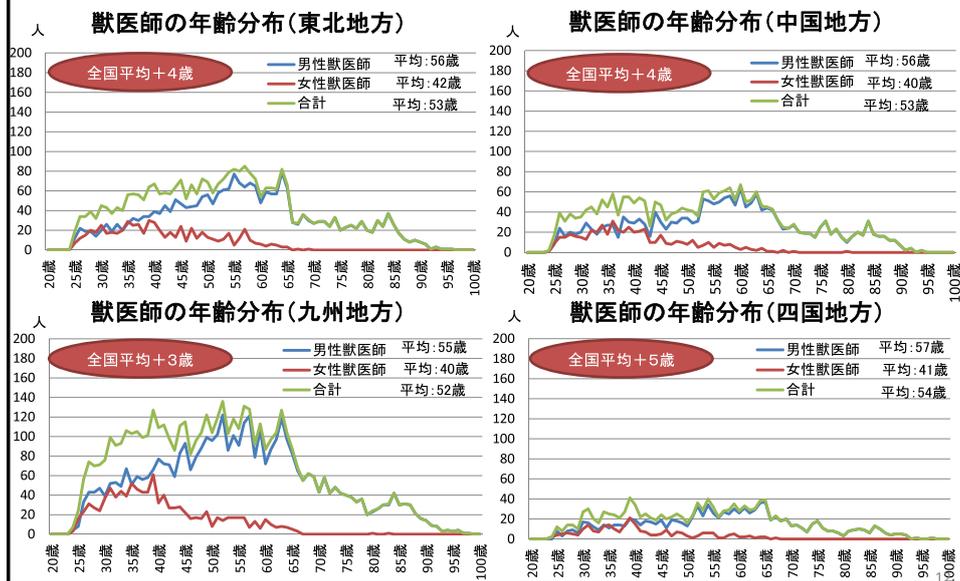
獣医師の平均年齢が全国平均と同等の地域 (全国平均49歳±2歳)



獣医師の平均年齢が全国平均より低い地域 (全国平均49歳-3歳)



獣医師の平均年齢が全国平均より高い地域 (全国平均49歳 \geq 3歳)



獣医師の年齢分布と地域特性(ポイント)

- ① 地域によって、獣医師の高齢化が進展
 - 新規獣医師の確保に苦慮
- ② 地域を問わず、20~30歳代の獣医師のうち、女性獣医師は約半数

獣医師の職域別の年齢構成

14

獣医事に従事する女性獣医師

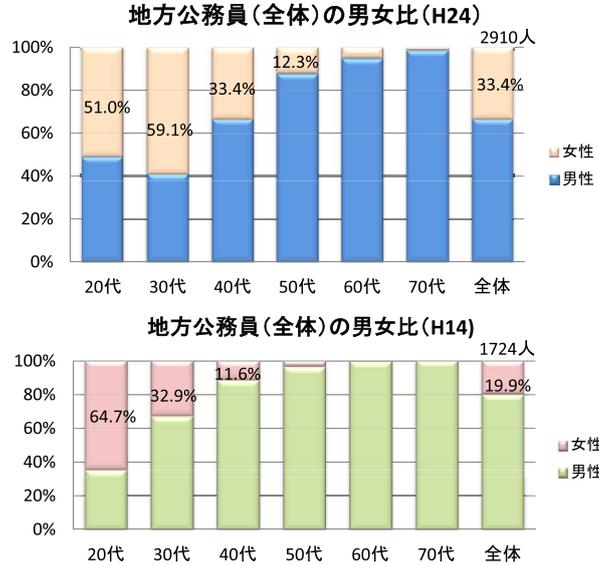
- 全体では、10年間で約7000人(約1.3倍)増加
(H14:約27000人 → H24:約34000人)
- 女性獣医師は約3割で、20～30歳代では約半数
(10年前:約2割)
- 10年前と比較した場合、女性獣医師は約**1.6倍**
(H14:17.8% → H24:28.1%)



【農林水産省調べ】 15

地方公務員(全体)の女性獣医師

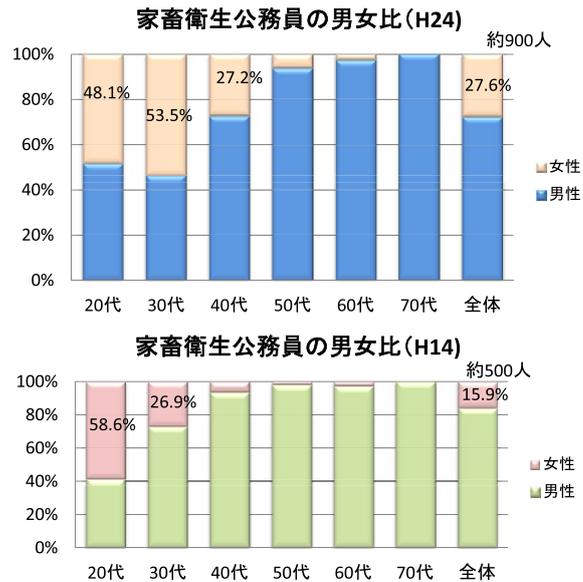
- 全体では、10年間、現状維持で推移。
(H14:8663人 → H24:8702人)
- 地方公務員獣医師の1/3は女性獣医師で、20～30歳代では半数以上
- 10年前と比較した場合、女性獣医師は約1.7倍
(H14:19.9% → H24:33.4%)



【農林水産省調べ】 16

地方公務員(家畜衛生分野)の女性獣医師

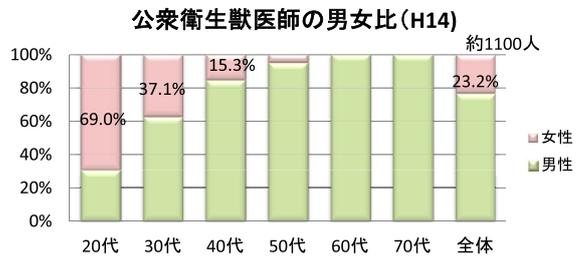
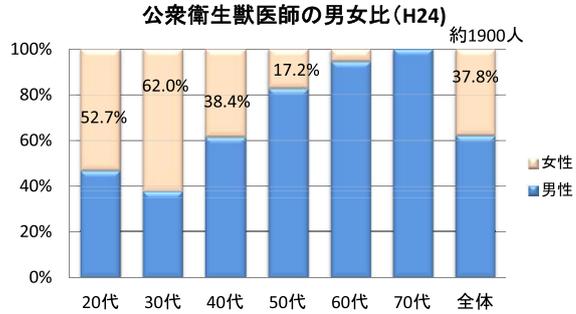
- 全体では、10年間で約200人(約0.94倍)減少
(H14:約3300人 → H24:約3100人)
- 約3割は女性獣医師で、20～30歳代では約半数
- 10年前と比較した場合、女性獣医師は約1.7倍
(H14:15.9% → H24:27.6%)



【農林水産省調べ】 17

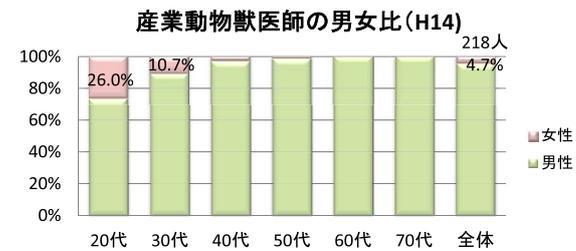
地方公務員(公衆衛生分野)の女性獣医師

- 全体では、10年間で約300人(約1.06倍)増加
(H14:約4800人 → H24:約5100人)
- 約4割は女性獣医師で、20~30歳代では半数以上
- 10年前と比較した場合、女性獣医師は約1.6倍
(H14:23.2% → H24:37.8%)



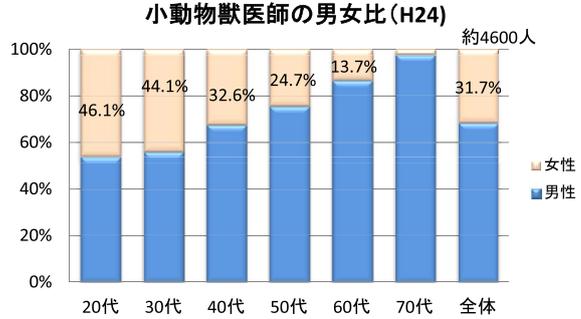
産業動物診療分野の女性獣医師

- 全体では、10年間で約200人(約0.95倍)減少。
(H14:4590人 → H24:4366人)
- 約1割は女性獣医師で、20~30歳代では約3割
- 10年前と比較した場合、女性獣医師は**約2.3倍**
(H14:4.7% → H24:11.0%)



小動物診療分野の女性獣医師

- 全体では、10年間で約5000人(約1.5倍)増加
(H14:約9,500人 → H24:約1.5万人)
- 約3割は女性獣医師で、20～30歳代では約4.5割
- 10年前と比較した場合、女性獣医師は**約1.3倍**
(H14:24.7% → H24:31.7%)

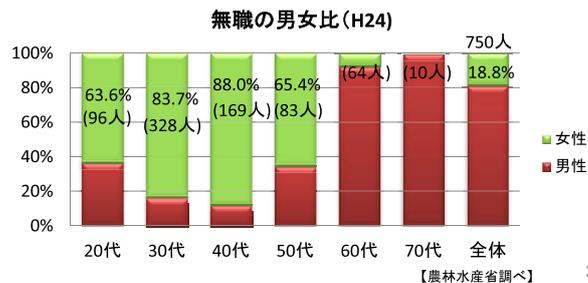


無職の女性獣医師

- 獣医師約3万8千人のうち、
 - 60歳未満の女性獣医師は約1万人
 - 約7百人(6.8%)が無職
(無職男性獣医師:約2百人(1%))
- 無職の者のうち、
 - 女性は約2割
 - 60歳未満では約8割
- 一方、
 - 無職の女性医師:約1%
 - 無職の女性歯科医師:約2%

無職の女性獣医師の年齢分布 (H24.12.31現在) (単位:人)

	届出者総数		獣医師に就業者		無職		
		うち女性		うち女性		うち女性	うち男性
20代	3,587	1,630	3,587	1,524	151	96	55
30代	8,809	4,319	8,364	3,955	392	328	64
40代	8,176	2,593	7,908	2,372	192	169	23
50代	8,204	1,372	7,998	1,267	127	83	44
60代	5,421	410	4,439	336	820	64	756
70代以上	4,096	35	1,653	24	2,316	10	2,306
20～50代	28,776	9,914	27,857	9,118	862	676	186
合計	38,293	10,359	33,949	9,478	3,998	750	3,248



平成26年度 獣医大学の在籍者数

(単位:人)

学年	在籍者数	うち女性		卒業年度
		人数	割合	
6年生	1,055	486	46.1%	H26
5年生	1,057	524	49.6%	H27
4年生	1,077	535	49.7%	H28
3年生	1,068	539	50.5%	H29
2年生 ^{注1}	1,075	545	50.7%	H30
1年生 ^{注2}	979	487	49.7%	H31
合計	6,311	3,116	49.4%	

【農林水産省調べ】

注1:2年生には、東京大学の獣医学生を含まない。(東京大学は3年次に獣医学科に振り分けられるため)

注2:1年生には、北海道大学及び東京大学の獣医学生を含まない。(北海道大学は2年次に獣医学科に振り分けられるため)

22

獣医師の職域別の年齢構成(ポイント-1)

- ① 獣医事に従事する**女性獣医師**は、**10年間で1.6倍**になり、20～30歳代では約半数が女性
- ② 地方公務員の**女性獣医師**も、10年間で約1.7倍になり、家畜衛生では約3割、公衆衛生では約4割が女性
- ③ 産業動物獣医師は減少しているが、**女性獣医師**は**10年間で2.3倍**になり、20～30歳代では約3割が女性
- ④ 小動物診療の**女性獣医師**は、**10年間で1.3倍**になり、20～30歳代では約4.5割が女性



女性獣医師が増加する中、産業動物診療分野の増加が顕著な一方、小動物診療分野の増加は低い

23

獣医師の職域別の年齢構成(ポイント-2)

- ⑤ 60歳未満の女性獣医師のうち、6.8%(676人)が無職であり、30歳代では7.6%(328人)の女性が無職
- ⑥ 現在、獣医大学の在学者のうち、約半数が女子学生



今後とも女性獣医師の増加が見込まれる一方、医師等と比較しても、無職の女性獣医師の割合が高い

24

女性獣医師に対する就業支援

25

女性獣医師の現状と課題

現状

働く女性獣医師は、20～30歳代で獣医師の約半数近く



獣医学生の約半数は女性であり、今後も女性獣医師が増加



課題

- 結婚や出産、子育てで離職する者
- 長期離職による技術力への不安等により、再就職をためらう者



女性獣医師の約7%が無職

年代別(20～50歳代)の獣医師数

届出者総数	無職			
	うち女性	うち男性	うち女性	うち男性
20代	3,587	1,630	151	96
30代	8,809	4,319	392	328
40代	8,176	2,593	192	169
50代	8,204	1,372	127	83
合計	28,776	9,914	862	676

【農林水産省調べ(H24年12月末現在)】

女性獣医師が生涯を通じて、能力を十分発揮できる環境作りが大切

【日本再興戦略 - JAPAN is BACK -】

「職場復帰・再就職支援」、「女性役員・管理職の増加」等により、女性が輝く日本を作るための政策を実施

26

獣医師への就業支援対策

- 結婚や出産、子育てで離職し、再就職をためらう女性獣医師
- 産業動物獣医師の業務に不安を感じる女子学生

学生への情報提供

- セミナー
(内容例)
➤ 活躍する女性獣医師の体験談(産業動物・公務員等)
➤ 女性獣医師の就業支援対策
- 実習研修
➤ 女性獣医師の職場での業務内容を体験(NOSAや民間診療施設、家保)



ライフプランを考える
機会の提供

女性獣医師のスキルアップ

- e-ラーニング
(教材例)
➤ 家畜保健衛生所の業務内容、必要な基礎知識
➤ 家畜伝染病の発生予防・まん延防止対策、飼養衛生管理基準
- 技術研修
➤ 検査技術、診療技術(家畜保健衛生所 等)



職場復帰・再就職の円滑化

雇用者の理解醸成

- セミナー
(内容例)
➤ 就業環境整備に積極的に取り組む優良事例
- 研修会
(内容例)
➤ 各種助成制度や関係法令、他業種での取組事例等
- ワークショップ
(内容例)
➤ メンター制度やロールモデル普及



就業環境の向上

女性獣医師をめぐる情勢(まとめ)

女性獣医師に対する就業支援対策を講じることにより

**各分野の課題を把握・分析し、
きめ細やかな対策に取り組む必要
(知恵と工夫、協力)**

➤ 獣医師全体の就業環境が向上

28